

平成24年7月19日(木)

三島市の防災対策

～市民への情報発信～



三島市企画部危機管理課 鈴木啓司

1

説明の構成

- 1 三島市の概要
- 2 東海地震と三島市の被害想定
- 3 富士山の火山防災
- 4 市民の防災意識の向上
- 5 市民への情報提供
- 6 三島市の防災関係計画

2

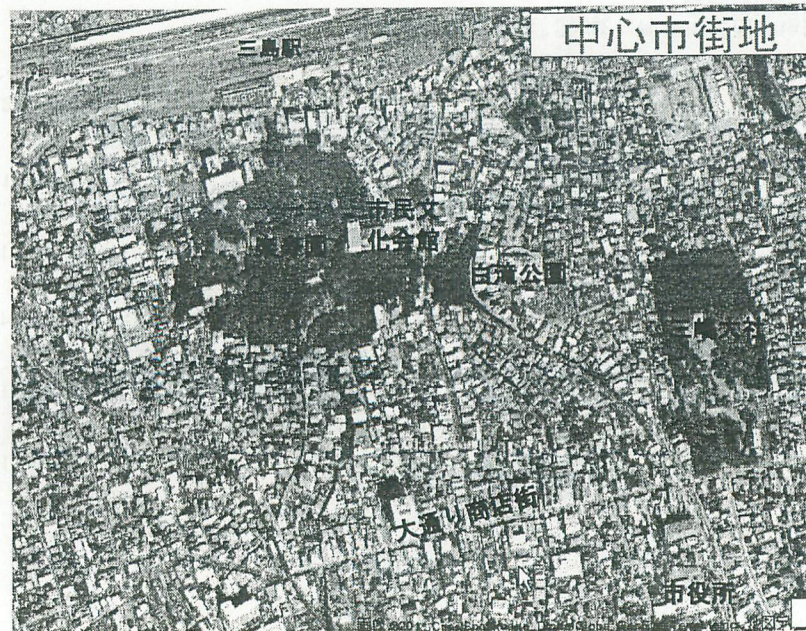
三島市の概要

平成24年6月30日現在

人口	113,083人	外国人登録含む
世帯数	46,841世帯	
面積	62.13km ²	盛岡市 886.47km ² 1/14
高齢化率	23.6%	住民基本台帳ベース

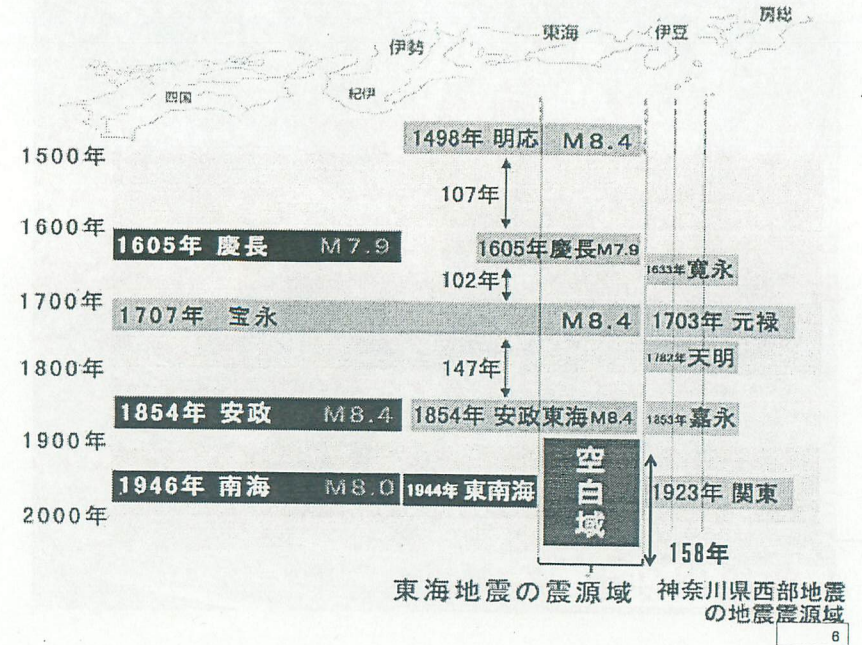
3

中心市街地



4

東海地震と三島市の被害想定

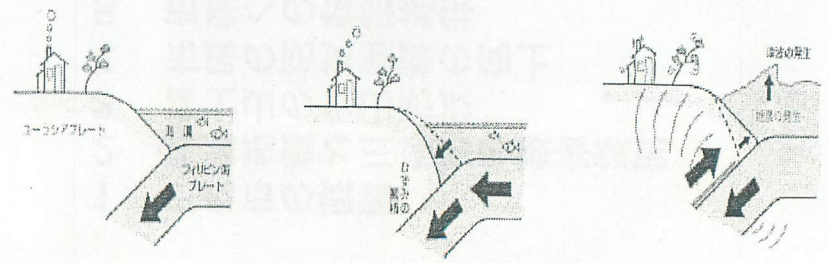


日本列島周辺のプレート



日本列島周辺は「ユーラシアプレート」「太平洋プレート」「フィリピン海プレート」「北アメリカプレート」がせめぎ合っている。

地震の起こり方



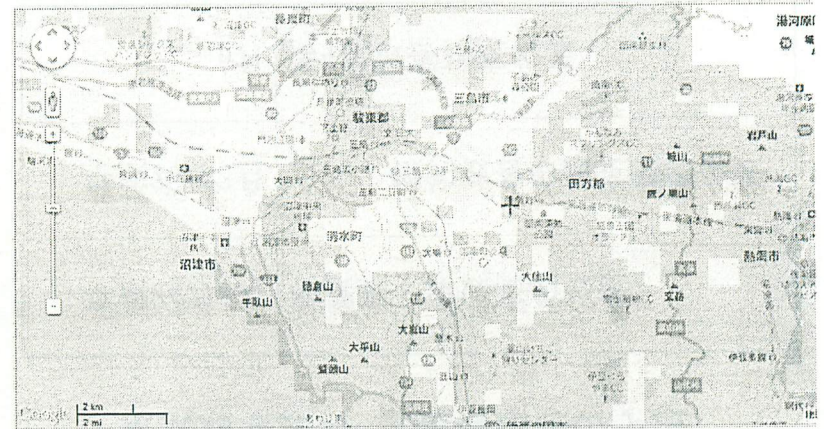
- 年間数cm～10数cm プレートが移動
- 掛川市と御前崎市の高さの差が50年で23cm

今後30年間の間に東海地震が 起こる確率

88%

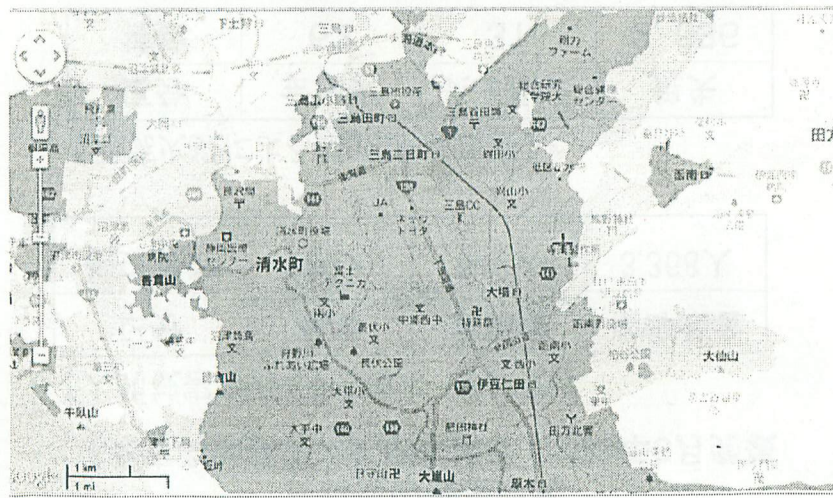
(政府地震調査委員会 平成24年1月11日発表)

静岡県防災GIS情報閲覧ページ ～県第3次被害想定 平成13年5月発表～



6弱：固定していない重たい家具
の多くが移動・転倒

【液状化現象】



■5%未満 5%以上10%未満 10%以上15%未満 15%以上20%未満 ■20%以上25%未満 ■25%以上

【安政東海地震推定浸水区域】



三島市の被害想定
(県東海地震第3次被害想定) H13年5月発表

【人的被害合計(予知なし 冬5時)】

区分	死者	重傷者	中等傷者
被災者数	260人	642人	3,368人

【延焼火災による想定建物被害】

区分	全出火	炎上出火	焼失
棟数	62	31	2, 636

出火: 出火現象すべて 炎上: 本格的な消防活動が必要な火災

県内市町別の推計最大津波高
～南海トラフ巨大地震～

内閣府の有識者会議 平成24年4月1日発表

市 町	最大津波高
沼津市	13.2m
熱海市	5.4m
南伊豆町	25.3m
富士市	6.2m

三島市の標高



県東海地震第4次被害想定 of 予定

平成24年8月	地震動・津波高の公表
平成25年3月	人的・物的被害の想定結果公表
6月	第4次被害想定公表

富士山の火山防災

日本列島周辺のプレート



日本列島周辺は「ユーラシアプレート」「太平洋プレート」「フィリピン海プレート」「北アメリカプレート」がせめぎ合っている。

富士山の活断層の可能性(文部科学省)

文科省報告書 地震で大規模崩落も
富士山直下に活断層か

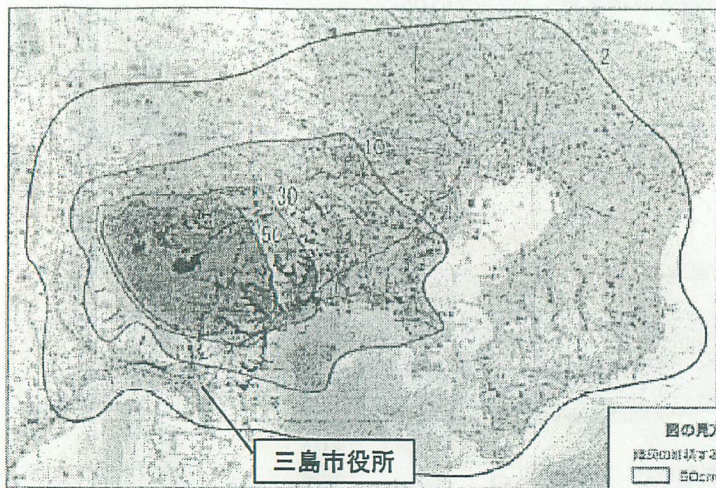


2012/05/11 日本経済新聞(朝刊)

富士山の火山現象の影響予想

(国の富士山ハザードマップ検討委員会 16年6月)





降灰の影響予想範囲

(国の富士山ハザードマップ検討委員会 16年6月)

図の見方

降灰の予想する範囲

50cm以上
30-50cm
10-30cm
2-10cm
土石流の発生範囲

富士山火山防災対策協議会

- 目的 富士山噴火時の総合避難対策等の検討
- 設立 平成24年6月
- 構成員
識者、国、静岡県、山梨県、神奈川県、
関係市町村(三島市参加)、ライフライン
- 今後の予定
 - ・広域避難計画の策定(平成26年)
→県地域防災計画修正→市地域防災計画修正
 - ・市民に情報提供、必要な対策を検討

市民への情報提供

家屋の倒壊



阪神・淡路大震災
・死者の80%以上が建物の倒壊等(内60%が15分以内に死亡)

家具の転倒



阪神・淡路大震災
・怪我した人 48%が家具の転倒

25

ブロック塀の倒壊



26

市民啓発

- 市HPの危機管理情報のリニューアル
- チラシ「大切な家族の命は守れます！」の配布
- 「私の防災カード」の配布

27

地震対策補助制度

- 【耐震診断】
 - ・わが家の専門診断事業(無料耐震診断)
- 【工事等】
 - ・既存建築物耐震診断事業
 - ・木造建築物耐震補強助成事業
 - ・崖地近接等危険住宅移転事業
 - ・ブロック塀等耐震改修促進事業
 - ・耐震シェルター整備事業
- 【家具転倒防止】
 - ・家具転倒防止事業

28

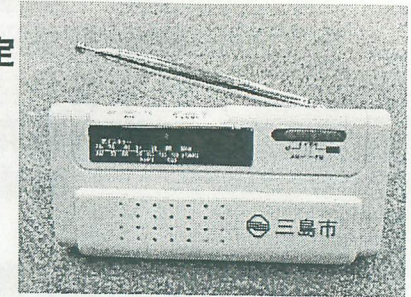
災害時要援護者支援体制 (福祉総務課担当)

- 対象者 身体・精神障がい者1・2級、要介護者
ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯
- 災害時要援護者調査
 - 3月～5月 個別調査を民生委員が実施
 - 6月～8月 個別計画作成
 - 9月 災害時要援護者台帳を自治会に提供
- 台帳の利用例
 - ・各自治会が台帳により災害時要援護者宅を確認訪問→ホイッスル(緊急用愛の笛)を配布
 - ・ゼンリン地図に落とし込み
 - ・日頃の見守り活動に利用

29

三島市防災ラジオ

- 販売価格 1台 1,000円
- 購入経費 6,090円(県補助金5090円×1/3)
- 販売対象
 - 市内在住市民・事業所限定
 - 1世帯(事業所)1台
 - H23末 15,204台販売
- 特徴
 - 同報無線の放送時には
 - ラジオ放送から同報無線
 - に自動切替
- 課題 受信しにくい地域、使用環境の条件等あり



30

同報無線テレフォンサービス

- 同報無線(声の広報)で放送した内容を電話で確認可能
- 電話番号 0120-212184
- 放送内容
 - ・過去24時間以内の放送内容を確認可能
 - ・放送は最新のものから流れる
 - ・定時放送は録音されない
- 維持管理経費
 - 約20,000円/月(フリーダイヤル通話料)
- 導入経費 県のシステム利用

31

市民メール配信 「みしまるホッとメール」

- 特徴
 - ・三島市から市民に情報をメール配信
- 登録者数 1,811人(7月10日現在) 1.6%
- 配信情報
 - Jアラート情報、危機管理情報、
 - 同報無線情報、交通情報、防犯情報、
 - イベント・お出かけ情報、健康情報 他

32

職員メール配信

○特徴

- ・危機管理課から全職員に危機管理情報のメール配信

○登録者数 1,783人(7月10日現在)
携帯保有者 約100%登録

○配信情報

- ・非常配備態勢別の参集情報、Jアラートと連携した気象警報の情報
- ・全職員(臨時職員等を含む。)、部別課別にその他必要な情報

33

三島市地域SNS

○地域SNS

パソコンや携帯電話を利用して日常的にサイト内の日記や掲示板を利用できる地域向けの交流・情報提供サイト

○特徴

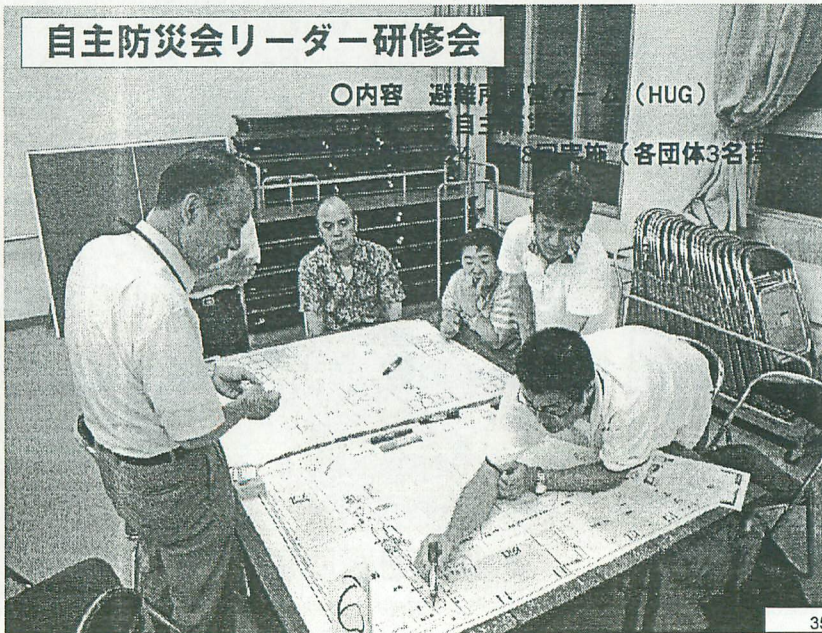
- ・災害時には災害モードに画面が切り替わり、災害情報や避難情報の発信、入手が可能
- ・携帯電話のカメラで撮影した写真を添付して、市に災害発生 of 通報が可能

34

自主防災会リーダー研修会

○内容 避難所(各団体3名)

自主防災会(各団体3名)



35

三島市防災指導員

○目的 自主防災組織に対する指導、情報提供を行う人材の育成

○設立年度 平成14年

○登録者数

17名(市民ボランティア)

消防OB、防災への熱意のある市民

○活動内容

- ・自主防災会リーダー研修会の指導
- ・防災講演会
- ・防災指導員研修会への参加

36

出前講座・訓練



- 内容 防災講座、図上訓練(DIG・HUG)、起震車体験、スモークハウス
- 対象 自主防災会、公民館行事、幼稚園、外国人
- 回数 H23 全51回

37

スモークハウス



38

三島市の防災関係計画

39

地域防災計画の見直し

- 計画内容
 - ・東日本大震の教訓を踏まえた大幅な見直し
- 業務継続計画（BCP）の策定、具体的な職員の行動マニュアルの策定を並行して進める
- 見直し予定 平成24年12月

40

業務継続計画(BCP)策定

○計画内容

- ・非常時優先業務(災害緊急業務、継続する通常業務)の優先順位
3時間、12時間、24時間、3日間、1週間、1ヶ月に区分して検討
- ・必要な資源に係る活用の検討
(職員、庁舎、電力、電話、情報システム、執務環境、職員用の飲料水・食料)

○策定予定 平成24年12月

ご清聴ありがとうございました

